

平成 24 年度第 1 回吹田市立図書館協議会（会議録要録）

開催日時：平成 24 年 5 月 9 日（水）

午後 2 時～4 時

開催場所：中央図書館 3 階第 2 集会室

出席者委員）坂本委員、渡邊委員、原田委員、浅野委員、尾崎委員、中川委員、稲垣委員、早瀬委員

事務局出席者）竹村中央図書館長、竹村参事、古田参事、西尾参事、金森千里図書館長、櫻井さんくす図書館長、廣本江坂図書館長、長島千里山・佐井寺図書館長、宮東山田駅前図書館長

傍聴者：なし

事務局）《配布資料の確認と、出席状況および人事異動の報告》

第 3 6 回（平成 24 年度第 1 回）図書館協議会次第

1. 新委員紹介
2. 役員選出
3. 報告事項について
 - (1) 千里図書館の移設に係る進捗状況について
 - (2) （仮称）千里丘図書館整備事業の進捗状況について
 - (3) 吹田市予算内訳について
 - (4) 吹田市立図書館郷土資料のデジタル化についてのホームページのご紹介
 - (5) 「吹田市立図書館協議会の会議の傍聴に関する取扱い基準」について
 - (6) 市民からのご意見・クレームについて
 - (7) さんくす図書館窓口等一部業務委託について（受託業者決定の報告）
4. 平成 24 年度（2012 年度）基本方針と目標（暫定版）について
5. 第 5 期吹田市立図書館協議会の検討事項について
6. その他
 - (1) 次回日程について
 - (2) その他

次第 1、2 《略》

3. 報告事項について

(1) 千里図書館の移設に係る進捗状況について

議 長）それでは、次第書に従いまして **3. 報告事項について** を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局) 南千里駅前公共公益施設の正式名称が「千里ニュータウンプラザ」と決定しました。建物は8階建てで、図書館はその3階に移転します。現在9月3日開館の予定で準備を進めています。

議 長) 今の報告を受けて何かご質問等ありますか。

H 委員) 壁面と床の材質は、どうなりますか。

事務局) 建物東側のみ全面ガラスで、床はカーペットになります。

G 委員) 自転車の利用は基本的に無料が望ましいと思いますが。

事務局) 高校生までは無料で、大人の方は最初の30分間は無料となります。駅前という立地条件にありますので、できるだけ公共交通の利用や、徒歩で来館していただければと考えています。

H 委員) 市役所が無料であることと比較して、その他の市施設の駐輪場が有料化されていくと、市民からは不満が出続けると思う。このような問題こそ、市の幹部の方にも意見を聞いてほしい。

I 委員) 図書館以外の施設は何が入る予定ですか。

事務局) 千里出張所、千里花とみどりの情報センター、郵便局、千里ニュータウン情報館、保健センター南千里分館、口腔ケアセンター、高齢者生きがい活動センター、千里ニュータウン地域保健福祉センター、市民公益活動センター、吹田市国際交流協会、南千里地区公民館、平和祈念資料館、千里市民センターの大ホールと多目的ルーム、そして図書館の14施設が入る予定です。

I 委員) 箕面市でも、2～3年後に市東部に国際交流センターが新しく建設され、その中に図書館ができるので多文化サービスの協力関係ができれば良いと思っています。

議 長) その他無いようでしたら、次の3項目を続けて報告をお願いします。

(2) (仮称) 千里丘図書館整備事業の進捗状況について

議 長) 続きまして千里丘図書館の進捗状況についてお願いします。

事務局) 平成24年度中の開館を目指しています。敷地面積721㎡、建築面積が432㎡、延べ床面積が840㎡、内図書館閲覧部分が714㎡、鉄筋コンクリート2階建てで、計画では当初、蔵書数は3万6千冊、視聴覚資料は4千5百点、雑誌72誌、紙芝居360組、新聞9紙を購入予定です。開室日、開室時間につきましては、木・金の夜間8時までの開館を含め既存の地域館と同じです。床材はコルク材とする計画です。

H 委員) 日本の公共建築は、音響に対する配慮が少ない。江坂図書館でも壁面ガラスで音は反響してうるさく感じる。千里丘は大丈夫か心配だ。

H 委員) 面積は既存館と比べてどうか。

事務局) 延べ床面積では現在の千里図書館より一回り大きくなります。

(3) 吹田市予算内訳について

事務局) 《資料の説明》

H 委員) 北摂各市との比較があれば、なお有難い。

事務局) 「吹田市の図書館活動」などの統計書に、付け加えていく方向で考えていきたいと思います。

議 長) その他いかがですか。無いようですので次の項目の報告を受けたいと思います。

(4) 吹田市立図書館郷土資料のデジタル化についてのホームページのご紹介

事務局) 図書館ホームページの吹田の郷土・行政資料のページに、著者から許諾を得て、山田のお寺に伝統芸能として伝わる「権六踊り」を題材にした手作り絵本をデジタル化し掲載しました。今後の図書館サービスの方向性を示す実験的な取り組みとして報告します。

G 委員) ホームページに関しては、CD と DVD の新着案内が検索しやすくなっていると思います。

H 委員) 図書館と博物館との資料の分担収集のような事は出来ていますか。

事務局) 古文書のような歴史的文書は博物館が収集保存しています。現在、各々活動をしており、何かを分担しているという事例はありません。今後の課題と考えています。

H 委員) お互いの所蔵資料を把握し合うなど、連携のあり方について長期的な目で計画を立てていく必要があると思います。

I 委員) 学校の調べ学習などで必要な郷土資料など、図書館で置いてほしい資料などはないのでしょうか。

E 委員) 現在図書館と博物館にお世話になっており、その他には関西大学大阪都市遺物研究センター作成の DVD を全校に配備しています。小学校の調べ学習では、3年・4年生で吹田市と大阪府を勉強します。

議 長) 他にご意見ご質問が無いようですので、次の項目に移ります。

(5) 「吹田市立図書館協議会の会議の傍聴に関する取扱い基準」について

事務局) 前回、協議会の中で自由に意見交換する方法はないかという、ご質問ご意見がありました。議会や各種審議会の傍聴規則は、議員や委員さんの自由な発言を保障するためにこのような規定となっております。

G 委員) 規則の中の、報道関係の定義と「命令に従わない場合…」など少し表現がきついように感じる。

I 委員) そもそも、協議会開催の広報をどのように充実させていくかをテーマにしていたはずだ。本論に戻した方がよいのではないか。

H 委員) 図書館の掲示物は極めて多いので、協議会の開催案内も定位置で広報されれば見やすいのではないか。

事務局) よりよい方法を考えます。

A 委員) 傍聴者が一人もいない状態が続いているのは残念。発言が許されないなら、メモを残してもらいなどの方法が考えられないかと思う。

議 長) 次の議題である、市民の要望をどう吸い上げるかという事と非常に関連があると思います。では、次の報告に移ります。

(6) 市民からのご意見・クレームについて

事務局) 《資料に基づいて説明》

A 委員) 本当に欲しいのは、先々の図書館の将来像のような、聞いておくべき意見であり、その中でリタイヤ世代が果たせる役割を考えていきたい。

H 委員) 山田分室の例が書かれているが、アウトソーシングした館での出来事ですので、仕様書や要求した業務水準に照らして妥当なのかという分析と、アウトソーシングによって、図書館パフォーマンスが向上したのかどうかというレポートを望む。

事務局) 千里山・佐井寺図書館や山田駅前図書館では、おほめの言葉を頂戴しており、山田分室の例については、受託業者と接遇についての話し合いをしています。

H 委員) 委託している3館ならびに中央とさんくすの窓口で、①抜き出した本を正しい位置に返せない人のためにワゴンを備える。②配架の乱れを防ぐため書架担当を決める。配架の時に周辺の面ぞろえをする。③サービスの参考に本屋のジュンク堂を、一度見学に行かれたらどうかという、3つの提案をしたが、改善の様子がみられない。また、本の化粧箱の扱いが不統一。返却スリップが挟まったままになっている。他館からの取り寄せ資料の汚れチェック等がなされていない。児童向けの本に記された巻記号が小さい子どもの読めないローマ数字であったため、アラビア数字を添付するように職員に依頼したが、改善されない。現物・現場・現実をどう変えていくかという目が必要ではないか。

議 長) 利用者の本のリクエストの傾向はどうなっていますか。ベストセラーにかたよっていないかとか、そのあたりわかりますか。

事務局) 1 タイトルに対し 800 人ほどの予約者がお待ちになる場合もあり、順番待ちが長すぎるとのクレームも多くいただきますので、結局購入に際してはバランスを考えて利用者要求に応える必要があると考えます。

H 委員) 図書館予算の執行について、もっと情報提供してほしい。

事務局) 「吹田市の図書館活動」などで、もっと分かりやすい情報公開に努めます。

(7) さんくす図書館窓口等一部業務委託について (業者決定の報告)

事務局) 平成 24 年 (2012 年) 7 月 1 日より、窓口等一部業務の委託を計画しております。すさんくす図書館のプロポーザル方式による業者の提案説明会と、行政による最終審査会議が行われ、株式会社図書館流通センター大阪営業所を第一位候補者に決定しました。

H 委員) 業者は各館ごとに決めるのか、全館一緒か。

事務局) 各館ごとです。

H 委員) 仕様書は各館ごとか、全館同一か。

事務局) 基本的な部分は共通です。

議 長) 新たなサービス展開を考えての業務委託と認識しているが、前例どおり委託内容はカウンターや配架という事でよいか。

事務局) 細かいところで若干の違いはあるが、基本的にはそのとおりです。

議 長) その他いかがでしょうか。なければ、次の大きな議題に移ります。

4. 平成 24 年度 (2012 年度) 基本方針と目標 (暫定版) について

議 長) それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局) 《配布資料に基づいて説明》

H 委員) 数値報告などは個別ではなく一覧できる表にすれば、見やすいのではないかと。平成 20 年度導入されたマンガの 5 年目の分析として、当初の導入目的と達成度合いを茨木市や豊中市と比較レポートしていただきたい。

I 委員) 第 2 次子ども読書推進計画について、どのような形で見直しが始まったのか、またメンバーはどのような方か。

事務局) 幼稚園や保育園などの担当部署が参加しています。今年度中に策定することを目標としています。

I 委員) 途中で市民が意見を言う機会はあるか。

事務局) パブリックコメント (市民意見聴取) を行う予定です。

G 委員) サッカー選手に読書についてインタビューというのは、いかがかとは思いますが、子ども達がガンバ選手と話合いが出来たのは、よかったと思う。ヤングアダルトサービスは充実していったら良いと思う、NIE との絡みも含めて。職員がついて回るのも大変だし、書庫ツアーを毎週 1 回自由に入れるようには出来ないか。新聞記事見出しのデータベースは、新聞社のデータベースを利用出来ないか。

議 長) かなり盛りだくさんのサービスに加え、新しいサービス展開の視点や数値目標を定めている事など、すばらしい基本方針だと感じる。

議 長) その他いかがでしょうか。なければ、次の議題に移ります。

5. 第 5 期吹田市立図書館協議会の検討事項について

議 長) 昨年は情報サービスをテーマとして話し合ってきたが、吹田の図書館を良くするためのアイデアを出せればと考えます。次回以降議論していけるように、広報や市民意見の吸収の仕方や、学校図書館との連携などなど、何か一つテーマとしていきたいと考えます。このことについて何かご意見はありますか。

H 委員) 今期で話し合えなかった議題も、記録に残して第 6 期に引き継げるようにしたい。

議 長) その他いかがでしょうか。なければ、6 その他の項目に移りたいと思います。

6. その他 (1) 次回日程について

議 長) 次回の日程について事務局からお願いします。

事務局) 9月の5日か12日でお願いできますか。

議 長) それでは、9月5日の予定とします。では、その他のその他について、何かございますか。

I 委員) 途中で退席しなくても良いように、地域教育部の幹部の方の都合も調整されたらいかがですか。

H 委員) 現在図書館での掲示物や放送で過度な敬語が使われている。百貨店ではないのだから丁寧語でよいのではないかという発言をしているのだが、本庁や府立図書館の扱い方を次回聞ければありがたい。

また本協議会の運営について2点を提案します。①議論活性化のために委員相互間の呼称は「何々委員」ではなく「何々さん」とする。②職員の労を省くために湯茶はペットボトルと紙コップに改める。

議 長) 湯茶については、事務方の内部で判断してください。

I 委員) 呼び方については、どちらでも良いと思います。

議 長) 他になければ、閉会します。ありがとうございました。

----- ∞ -----
本要録ならびに配布資料は、吹田市立の各館及び情報公開課で閲覧可能です。

要録作成日：平成 24 年（2012 年）6 月 16 日